

防災訓練等指導業務報告書

リーダー	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	ファシリテータ	事務局長	事務局

研修団体名	若宮こども教室	住所	新居浜市新田町1丁目8-37	電話	34-7612
研修日時	令和4年10月26日 日曜日 13時00分～16時00分	研修対象者	若宮校区 小学生	研修人数	21名
研修場所	若宮公民館 大会議室	研修目的	若宮こども居室の生徒の「防災力向上」のため		
講師	馬越 健	ファシリテータ	おザ-パ- 川端 悟	協力者	

事前打合せ

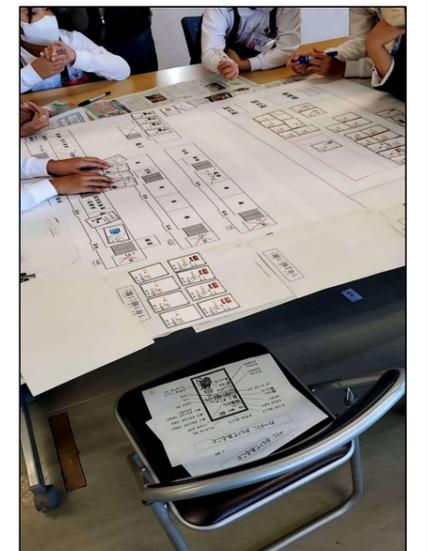
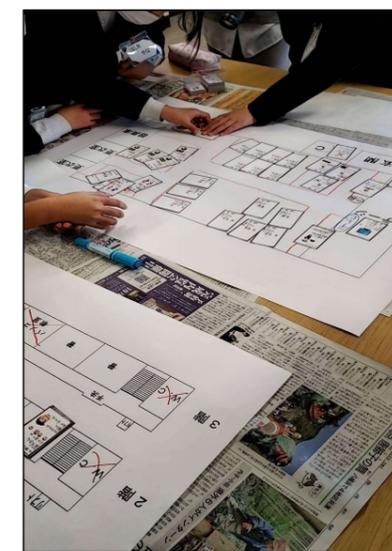
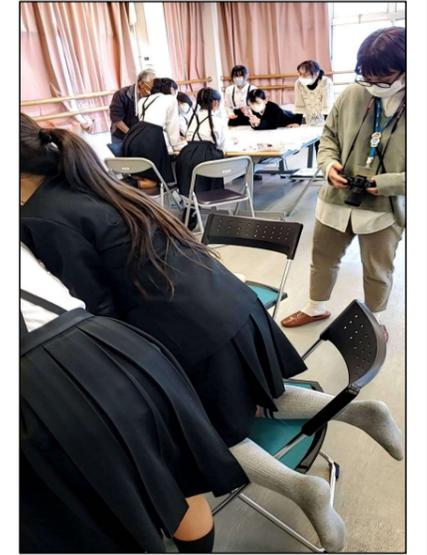
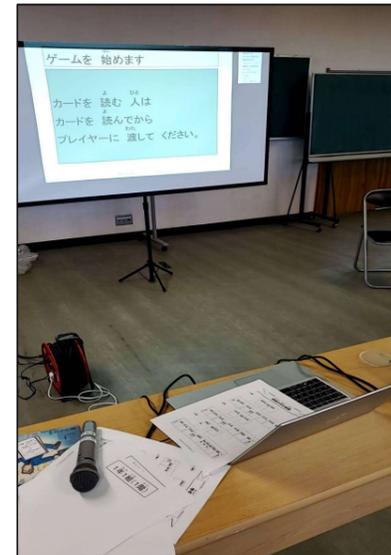
日時	令和4年10月21日 13時45分～15時00分	場所	若宮公民館 会議室
参加者 研修者	若宮公民館 主事 高橋 千穂	参加者 ネットワーク	馬越 リーダー
研修日時	10月26日 水曜日 13時～16時	講習内容	小中学校バージョン 地震災害120分
場所	若宮公民館 大会議室	準備品について	教材(カード)、PC HUG研修に必要な備品についてはネットワークにて準備します。 設備(マイク、スクリーン)については若宮公民館にて貸与願います。 養生紙(新聞紙)は公民館で準備する。
参加者予定	児童4・5・6年生 男4人 女17人 計21人		
当日までに決める事(若宮校区)			

防災訓練等指導内容

- 若宮子供教室の生徒に「HUG」研修を行う。 3グループに分かれて、子どもバージョンを行う。  
避難所の説明を行い、生徒さんが避難所のお世話(運営を行う)をする立場ですと説明を行い、実際のゲームをした。  
まず、「阪神・淡路大震災」「東日本震災」などの話を行い、その時の避難所の移り変わりを確認してもらい避難所の運営方法を伝える。  
HUG研修が終わったあとの感想や質問に答える。  
感想は難しかったという声が圧倒的に多かった。但し中には「大変だったけど、大人の手助けができるように勉強したい」と頼もしい発表をする女子生徒もいました。
- 講師所感 若宮こども教室の生徒の構成メンバーは4年生から6年生までで、同一学年でないで上級生が下級生に分かる範囲の誘導を行いスムーズに進んでいた。  
生徒は、難しいながらも興味を持ち熱心に研修を行っていた。指導としては、まず自身の命を守る。今起きた場合は、あなたたちができることを探して大人と一緒に手伝いをほしいと最後に伝えました。

発行番号No.

令和4年10月26日



・ HUG研修の感想

- たくさんの方がきて、どこに配置したらいいかわからなかった。
- 予想外の方がきてむずかしかった。
- テントの必要な人の位置がむずかしかった。
- けが人病気の人が、どちらを保健室に配置するかよく考えた。
- 犬と耳の聞こえないおばあさんを広いホールに配置した。
- ベッドが少なくてこまった。
- 外国人やしょうがい者に対応しながら、どこにいてもらうか決める事がとてもむずかしかった。
- つかえない教室がけっこうあって、部屋がすくなくなった。
- 場所の仕分けが大変だった。
- このような時に、外国の人などに説明するのが大変。
- 赤ちゃんの部屋を決めるのが大変だった。
- 仕切りをするのが大変だった。
- 外国人やけがをした人の部屋を決めるのが大変だった。
- いろいろな人のしている人の部屋を分けるのが大変だった。
- このような時に、外国の人などに説明するのが大変。
- この仕事をしている人は、すぐに部屋決めをしてすごいと思いました。
- 自分が大人になったらこのようなときに助けてあげたいと思った。